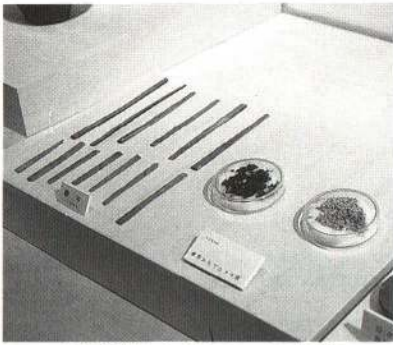


大館の歴史散歩

郷土博物館の展示紹介⑥

ちゅうぎ 木 (クソベラ)



便所遺構から出たクソベラと種子

発掘調査をしていると、見学者特に子供から「トイレはどこにあったのですか、どんなトイレだったのですか」という素朴な質問をよく受けます。実はこの質問が調査担当者を悩ます一番難しい質問なのです。

日本考古学研究の歴史は百年を超える実績があります。しかし、その主な研究は人間がいかに生きてきたか、言い換えると「何をどのようにして食べてきたか」で

あつて、食べた後はどうしたか、どう始末したかの研究は、つい最近まで全く追及されないうべきであったが実情でした。

古代の大寺院や中世の城郭でのトイレの例はありますが、古代以前の民衆のトイレがどのようなものであったのか、ましてやより古い縄文時代のトイレがどのようなものであったのかについては、一部の研究者を除いては研究意識を持つことさえなかったのです。

一九八六年、大館市が行った松原にある矢立廃寺の発掘調査で、十二世紀のトイレが発見されました。これが日本で最初に確認された古代のトイレで、この発見をきっかけに日本のトイレ研究は飛躍的な発展を遂げました。

トイレの中からは、ウリ、エゴマ、ナス、リンゴなどの栽培種やアケビ、グミ、ヤマブドウなどの野生種の未消化の種子とともに、杉の柾目材をナイフ形に加工した木製品が多量に出土しました。

この木製品が籌木(ちゅうぎ)と読み、元々は易で使う棒の意)という排便後の洗浄具で、一般にはクソベラと呼ばれています。長さ二十センチ前後、幅一センチ前後、厚さ三〜五ミリで、ナイフのように柄と刃を削り出しています。紙が貴重品であった時代に、郷土の先人は、毎日使用するクソベラを削って作っていたのです。

大館郷土博物館

大館の方言講座

『罵詈雑言』(悪口用語)
ウソコギ・ウソカダリ

嘘つき者

エツキアガリ：思い上がり者
カラッポヤミ・カラボネヤミ

怠け者

キーキギ：ごさかしい者

ゴボホリ：ごね者

シタバラコギ

おべっかつかい

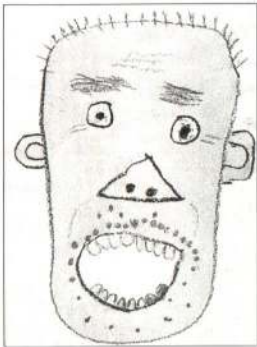
テボケ：不器用者

マルクタモノドネエ・

ユグダモノドネエ
ろくでなし

「大館市史」から

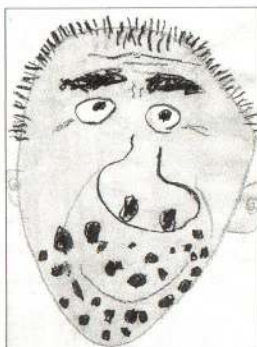
ちびっこギャラリー おじいちゃん



馬冬馬くん
お部屋で暴れると怒られるけど、いつもは優しいんだ。



渡辺知恵ちゃん
公園で一緒に遊んでくれるの。優しいから大好きよ。



拓門くん
朝早く一緒に散歩したよ。眠いけど気持ちいいんだ。

ホテヤ幼稚園

クイズ 広報 おおだてがヒント

▽問題

- ① 多目的ドーム建設事業、8月末現在の進捗率は?
- ② 大館駅・東大館線がJR大館駅に抜ける予定はいつ?
- ③ 矢立廃寺で発見された籌木は、何に使用する道具?
- ④ 「おべっかつかい」を大館の方言で表現すると?
- ⑤ ミミカキグサの「花」は、

▽応募方法

はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①―②―)を書いて応募ください。

▽応募先

〒017大館市字中城20番地
広報「おおだて」クイズ係
※全問正解者の中から抽選で

5人に、広報「おおだて」オリジナルテレカ(秋田犬)をさしあげます。

▽締め切り

9月25日(水)当日消印有効

▽8月16日号の答え

- ① 阪神・淡路大震災
- ② 森隆夫氏
- ③ 2,400本
- ④ 818人分
- ⑤ クサレグマ

▽8月16日号の当選者

- ・木村テルさん(天下町1区)
- ・佐藤寿樹さん(川口2区)
- ・内藤志賀子さん(札幌市)
- ・成田正雄さん(南神明町)
- ・松浦恵子さん

(二井田・下村)
応募総数44、全問正解数40